

## 2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 赤穂市立有年小学校 ] 担当教諭名 [ 尼子 隆紀・田中 浩幸 ] ( 5年1組 10名 )

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Taipei Mandarin Experimental Elementary School ] 担当教諭名 [ Huiling Liu ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界とつながろう	26

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	私たちのまちの文化
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	自分たちの町を知り、伝えることで、自分の町が好きになる。相手の町が好きになる。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の子どもたちと交流できる貴重な機会となった。</li> <li>相手国のことをもっと知りたいと思い、異文化に興味をもつことができた。</li> <li>自分の地域の良さを知り、相手に伝えようという気持ちが育った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科学習とのバランス(時間数)をどうとるのが難しい。</li> <li>skype ではあまり英語で交流ができず、児童同士のコミュニケーションがとれなかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国を身近に感じた。</li> <li>ICT 機器により、外国の人とも交流ができることを肌で感じた。</li> <li>一つの目標に向かって協力することの大切さを学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国を身近に感じた。</li> <li>skype で他国との交流がリアルタイムでできることに改めて驚き、グローバル化の必要性を理解した。</li> <li>言語が異なる国との交流の難しさを感じた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・Skypeによる自己紹介。 ・フォーラムに自己紹介動画をアップする。	・Skypeでリアルタイムでつながれることに感動。	総合4
共有 テーマ学習	10月	・自分たちの町の紹介を、skypeとフォーラムで交流。	・自分たちの町のことを再認識した。	総合7
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	・自分たちが紹介した文化をもとに、両校で原案を作成。Skype等で相談して案を決定する。	・相手に絵の内容が伝わるように考えた。	総合3
創造 壁画制作	11月 12月	・プロジェクターで下絵を大きく映し、キャンバスに写し書きをした。 ・専用絵の具でキャンバスに塗る。	・良いものを作ろうと、作業を分担して、描画作業に取り組んでいた。	総合8
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	・台湾についてインターネットで調べ、新聞にまとめた。 ・台湾側からのキャンバスが届いた箱を開けた日に動画を撮影。フォーラムにアップした。	・台湾の食べ物や文化について、より深く知ることができた。 ・台湾側から送られてきた実物に迫力を感じていた。色もとても鮮やかで感動していた。	総合4

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	自分たちの町について考える機会となったから。
異文化の理解	A	4	海外の小学生と交流できたから。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	Skypeは英語の能力が高くないとあまり効果がないと思ったから。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	2	子どもたちが進んで情報発信をしたいという意欲喚起ができなかったから。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	C	3	人間関係を作るまではいかなかったから。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	絵の作成過程で、協力して取り組めたから。
学習を追究する意欲	B	3	追究するという段階まで引き上げることができなかったから。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	3	自分たちのまちの文化を絵では表現できたが、英語の能力が高くない、言葉で表現するまではいかなかったから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	4	作品を鑑賞する中で、自分たちのがんばりに気づいたり、台湾への愛着がわいたりしていた。